

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO.,LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適用規格		MIL-STD-348B			
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +105℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-55℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力	—	特性インピーダンス	50Ω (0 ～ 50 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 4 mΩ以下 外部コンタクト 2 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500Vで測定する。	5 0 0 0 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC500Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 ①	周波数 DC～20GHz 20～50GHz にて測定する。	V SWR 1.3 以下 V SWR 1.45 以下	○	○
	挿入損失	周波数 ～ にて測定する。		—	—
機 械 的 性 能	コンタクトの ゲージ保持力	φ0.495 ⁰ _{-0.005} の鋼製ピンで測定する。	挿入力 ---N以下 引抜力 0. 2 ～ 2 N	—	○
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 ---N以下 引抜力 ---N以上	—	—
	繰 り 返 し 動 作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コンタクト 6 mΩ以下 外部コンタクト 4 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 震 性	周波数 10 ～ 2000 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 196 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 ① 1960 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	— N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。	—	—
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 -10 ～ +65 ℃, 湿度 90 ～ 98 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 5000 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → — → +105 → — ℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	試験後に電気特性(VSWR)を満足すること。	○	—